



報 寺 誓 重

第15号 平成22年8月発行

夏休みになるとご家庭に、家族や親戚の子どもさんがおられる機会が増えます。そのような中、「賑やかですが疲れます」といった声も聞かれます。お参りに寄せて頂くとよく聞くのが、「お寺さん来たからあっち行つといて」という言葉です。確かに子どもさんがおられると横で遊んだり騒いだりと、静かにしていることが出来ないと思います。でもせっかく子どもさんがおられた時にお参りに寄せて頂けたのです。多少騒いでも結構ですから

ご一緒にお仏壇に手を合わせ、少しでも座ってお参りさせてあげるようお願いしたいと思います。仏様の教えは年寄りだけのものでもありません。まして家族代表がお参りすれば良いということはありません。今までお仏壇のお給仕は年寄りがしていたので、方法がわかりませんという声をよく聞きます。当然のこと、今まで見ていないのですから仕方ないことです。三つ子の魂百まで・・・是非、子どものころからご一緒にお参りする習慣をつけてあげるのが、大人の勤めでもあります。



法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、五、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

椅子席もございます。

ご家族お誘い合わせの上、お参り下さい。

常例法座

八月二十日(金) 昼二時、夜七時半

講師 石川 欣也 師

秋季永代経法要

九月二十日(月) 昼二時、

二十一日(火) 夜七時

講師 巖水 法乗 師

常例法座

十月二十日(水) 昼二時、夜七時

講師 宏林 晃信 師

以降は追って

お知らせいたします。



食事のことば

「食事」をいただく時に、私たちは何を思い、どのような思いをいただいているのでしょうか。

「食」 それは「多くのいのち」を

いただいています。

「食」 そこには「みなさまのおかげ」

がありました。

「食」 仏さまの「ご恩」を深く喜ぶ

ことができます。

「食」 「慚愧ざんき」と「歡喜かんぎ」の心でもって

「仏恩報謝ぶつとんほうしゃ」につとめてまいり

ましょう。

食事の際に一人ひとりが「ご恩」を味わえるように、新「食事のことば」ができました。

常に口にすることは難しいかもしれませんが、「食」の意味を考え、少しでも深く尊い「ご恩」を喜ばせていただきましょう。

「食前のことば」 (●代表者 ○全員)

(合掌)

●多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。

○深くご恩を喜び、ありがたくいただきます。

「食後のことば」

(合掌)

●尊いおめぐみをおいしくいただき、ますます御恩報謝につとめます。

○おかげで、ごちそうさまでした。



ポケモンの映画を子どもと一緒に
見えてきました。

ご存知かと思いますが、ポケモンとは、テレビ、雑誌、映画と常に子どもらに大人気のアニメーションです。

元はゲームのソフトとして登場したものです。が、ポケットに入るモンスターを少年らが互いに対戦させるという設定が子どもらにとっては憧れる話のようです。

子ども向けのアニメやヒーロー物は、そのほとんどが悪者と対戦し平和を求め、正義の味方という設定です。

しかしよく見ると、そのままの自分が戦うのではなく、他の強いヒーローの手を借りたり、変身して強い力を手に入れると言った設定になっています。

自分自身ではかなわない力を、強い者や

未知の力にすぎるのは、そもそも人間の本能なのかも知れません。

私たちはこの世での悪い出来事に対し、何とか出来ないものかと科学や医学などで対応してきました。

しかし、それらでは決して解決できないことがまだまだあります。

すべてを解決してくれるヒーローは決して現れてくれません。

自分にとって都合の悪いことを何とかしようとするのも良いのですが、中にはそのままを受け入れることが必要な時もあるのであります。

浄土真宗 本願寺派(西本願寺)重誓寺

じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2-4-19 電話・FAX06(6951)0090

<http://juseiji.net/>